



# 東大成小だより

さいたま市立東大成小学校

令和5年2月1日

ホームページ:<http://higashionari-e.saitama-city.ed.jp>

Tel 663-3210

Fax 663-9883

## 思いやりの心 ～相手を理解すること～

校長 岡田 健彦

先月末に子どもたちが「ありがとう集会」を開きました。交通指導員さんや大宮交通安全協会の方々、各自治会の防犯ボランティアの皆様を体育館にお迎えし、代表児童が感謝のことばを伝え、全校児童で作成した感謝の気持ちが込められた手紙とプレゼントをお渡ししました。「寒い日も暑い日も、天気の良い日も僕たち東大成小の児童が安全に登下校できるように見守ってくださったお陰で・・・」というメッセージには、参加された皆様が喜んでおられ、「これでまた続けられるよ」という声を耳にしました。子どもたちのために、労を惜しまずボランティアに邁進される姿には、地域の安全を守る使命感と本校児童への温かな思いやりの心を感じ、感謝の念に堪えません。

さて、世の中の価値観は多様化し、それぞれの思いや考えが対立したり、食い違ったりすることがよく見られるようになりました。グローバル化が進み、自分の権利を主張することが当たり前となり、「言わぬが花」のごとく黙って耐え忍ぶ自己犠牲の美德は過去の価値観となったかのようです。インターネット等の報道では、リアルタイムに世界の紛争の様子を把握でき、胸が痛みます。

しかし、集団がよりよく過ごしていけるようにするには、他者との円滑なコミュニケーションが欠かせず、お互いが歩み寄り、調整することが必要で、学校では子どもたちに学級会をはじめ様々な場面で「折り合う」（互いに譲り合って解決する）ことの大切さを指導しています。

私は、絵本が好きで、何冊かのお気に入りがあります。例えば、一昨年に他界した米国の絵本作家エリック・カールの「はらぺこあおむし」は、あおむしが美しい蝶に変身する結末に作者の子どもの成長への願いを感じることができるのです。また、先月には、新たに歌手の一青窈さんの「ハナミズキ」の絵本を手に入れました。芸能界に疎い私ですが、「ハナミズキ」の歌詞は以前から心に響いており、気に留めていました。これに画家が絵を描き、訳者が詩を英訳し、絵本として出版されました。英訳を読むと、一青窈さんの詩に込められた願いがより感じられます。例えば、以下の部分です。

All my patience and my pain erupt to part the sea and tame these waves that separate you from me. Only then can love begin. I pray our love may last a day, a week, a month, at least a hundred years.

相手のために手を差し伸べようとする思いやりの心や自分よりも相手のことを考え、よりよい関係が長く続いて欲しいといった願い、これは、軽々しく一言で伝えることが難しいほど深い意味が含まれていると感じました。前述の過去の価値観にも共通することですが、私は子どもたちに多面的に物事をとらえ、対立を収め平和を維持していくことの大切さを伝えていこうと思いました。新たな宝物となった一冊は、校長室にありますので、子どもたちが校長室に遊びに来た時に紹介したいと思います。